

第2次十和田市男女共同参画社会推進計画（後期実施計画） 令和3年度における進捗状況

No.	基本目標	重点項目	施策の方向	令和3年度における事業の実施状況及び評価						参考値 (28年度)	目標値 (3年度)	計画後期の総括	担当課	備考				
				事業名	内容	実施状況（実績）	指標名	現状値	達成度						指標設定年度			
22	II 「女と男」がともに参画するまちづくり	1 政策・方針決定過程への共同参画	1 各種審議会等委員への女性の参画推進	女性の任用推進	多様な意見を市政に反映させるため、各種審議会等委員への女性の参画を積極的に推進する。委員の選出は女性委員の占める割合を40%（市総合計画）に達するよう努めるため周知し、毎年集計・公表する。	附属機関等の委員の改選時には、女性の委員を選任するよう各関係係に促すとともに、審議会等においても女性の選任について配慮するよう周知した。 ○附属機関等の委員 ・審議会等委員 29機関 285人（うち女性 80人）（参考） ・地方自治法第202条の3に基づく審議会等委員の女性割合 32.5% 23機関 231人（うち女性 75人）	女性割合	28.1%	3	24 (25.8%)	29.0%	40%	審議会によっては女性が著しく少ないものや、市に委員選定の権限がないものなどもあり、後期は30%に満たない数字ではばばばばであったが、国の第5次男女共同参画推進計画においても、各種審議会等委員に占める女性の割合は40%を目標としているので、引き続き取り組む。	総務課	【達成目標～40%以上 (H33年度末)】 ※県データ…女性割合 24.7% (H28.4.1現在)			
23				議会活動における女性参画	市議会議員の女性割合	○十和田市議会の議員 22人（うち女性 5人）	女性割合	22.7%		24 (0%)	9.1%			新規事業 参考データ ※県データ…女性割合 11.6% (H28.4.1現在)	議会事務局			
24				教育委員会教育委員への女性参画	教育委員の女性割合	○教育委員 5人（うち女性 2人）	女性割合	40.0%		24 (40.0%)	25.0%			新規事業 参考データ ※県データ…女性割合 43.1% (H28.4.1現在)	教育総務課			
25				2 管理職への女性登用の推進	学校管理職における女性参画	学校管理職の女性割合（校長、教頭）	○学校管理職 校長 23人（うち女性 1人） 教頭 25人（うち女性 6人） 合計 48人（うち女性 7人）	女性割合	14.6%		24 (22.4%)	16.3%			新規事業 参考データ ※県データ…女性割合 13.7% (H28.4.1)	教育総務課		
26				管理職への女性登用の推進	均等な研修機会の充実や女性の専門的な研修を促進し、様々な分野で活躍する女性職員の人材育成を図り、管理職への登用を推進する。	能力、実績、適性に応じた人員配置を基本としつつ、公平な評価に基づく女性職員の管理職への登用を行った。 ○管理職 40人（うち女性 11人） ・部長級 10人（うち女性 2人） ・課長級 30人（うち女性 9人）	課長級以上女性割合	27.5%	5	24 (5.8%)	13.7%	15%以上	H29年度以降全ての年度で目標値を達成することができた。	総務課	※県データ…女性割合 14.4% (H28.4.1現在)			
27				3 組織・団体における意思決定の場への女性の参画促進	農業分野における女性の参画	農業委員に占める女性委員の割合	令和2年7月に改選（任期令和5年7月まで）し、農業委員の定数19名中、女性委員は1名在席しており、農業委員定数に占める女性委員の割合は5.26%となっている。	女性割合	5.26%		24 (7.4%)	11.5%			新規事業 参考データ ※県データ…女性割合 6.1% (H28.4.1)	農業委員会		
28				農業分野における女性の参画	農業協同組合の役員に占める女性の割合	○十和田おいらせ農業協同組合 役員 26人（うち女性 2人）	女性割合	7.7%		29	11.5%				新規事業 参考データ ※県データ…女性割合 7.0% (H28.4.1)	農林畜産課		
29				商工業分野における女性の参画	商工会議所、商工会役員の女性割合	商工会議所…0%（28名のうち0名） 商工会…20%（15名のうち3名）	女性割合			会議所 0% 商工会 20%		29	会議所 0% 商工会 13%			新規事業 参考データ ※県データ…女性割合 6.6% (H28.4.1)	商工観光課	
30				PTA活動における女性の参画	小・中学校PTA会長の女性割合	○小・中学校PTA会長 23人（うち女性 3人）	女性割合	13%		24 (3.4%)	8.7%				新規事業 参考データ ※県データ…女性割合 8.9% (H28.6.1)	スポーツ・生涯学習課		
31				地域活動分野における女性の活躍	町内会長の女性割合	○町内会会長 292人（うち女性 19人）	女性割合	6.5%		24 (4.1%)	4.4%				新規事業 参考データ ※県データ…女性割合 3.8% (H28.4.1)	まちづくり支援課		

第2次十和田市男女共同参画社会推進計画（後期実施計画） 令和3年度における進捗状況

No.	基本目標	重点項目	施策の方向	令和3年度における事業の実施状況及び評価						参考値 (28年度)	目標値 (3年度)	計画後期の総括	担当課	備考
				事業名	内容	実施状況（実績）	指標名	現状値	達成度					
32	II 「女と男」がともに参画するまちづくり	1 政策・方針決定過程への共同参画	3 組織・団体における意思決定の場への女性の参画促進	医療分野における女性の参画	中央病院医師に占める女性の割合	令和3年度末において、常勤医師39人のうち女性医師は3人であった。 常勤医師については、医局人事に左右されるため女性医師の増員は不透明である。	女性割合	7.7%	24 (8.1%)	9.4%		業務課	新規事業 参考データ ※県データ…女性割合 15.3% (H26)	
33				スポーツ推進分野における女性参画推進	地域のスポーツ活動の中心を担う指導者等への女性の登用を働きかける。	○スポーツ推進委員 15人（うち女性 6人）	スポーツ推進委員の女性割合	40.0%	3	24<42.1%	47.3%	50%	計画後期の推進委員数は、確保に向けて周知啓発に取り組んだもののH29の19人からR3は15人まで減少し、定数の28人より大きく下回った。	スポーツ・生涯学習課
34	2 活力あるまちづくりへの共同参画	1 地域、防災・環境分野等における男女共同参画の推進	元気な十和田市づくり市民活動支援	協働によるまちづくりを推進するため、市民による自主的、公益的なまちづくり活動の支援に努めることを目的として、地域課題の解決や地域連携の促進を図るため、市民団体等の活動に補助金を交付する。	市民団体等による自主的、公益的なまちづくり活動に対して、元気な十和田市づくり市民活動支援事業補助金を交付した。 ○地域づくりコース 7団体（補助金交付額 2,014千円）	元気な十和田市づくり市民活動支援事業活用団体数	7団体	3	29	20団体	20団体	まちづくり支援課	第2次十和田市総合計画 第1期実施計画関連事業	
35			ボランティア・NPO活動に関する情報の収集・提供	NPO・ボランティア団体の活動内容を紹介し、その活動の促進を図る。	市民が地域や社会活動に積極的に参加し、男女がともにまちづくりを担うため、市民活動団体の活動内容を市ホームページやフェイスブックで情報発信した。 ○市民活動・ボランティア活動を紹介した団体 125団体	活動紹介をした団体数	125団体	4	29	120団体	150団体	いずれの年も目標値を上回ることができなかったが、随時、団体の活動取材情報発信を行った。 市民活動に対する興味関心を持ってもらい、市民が参画するきっかけとなるよう、継続して情報発信する。	まちづくり支援課	
36			市民の声を反映させる市政窓口	市と町内会の懇談会等により、市民の意見や要望を市政に反映させる。	市と町内会との懇談会を開催し、86町内会から要望のあった162件に対して町内会長等へ回答した。 ○市と町内会との懇談会出席者123人（うち女性 16人） ・12月23日 三本木小、東小、高清水小、深持小、西小、北園小、ちとせ小、洞内小、松陽小地区 ・12月24日 南小、四和小、藤坂小、下切田小、沢田小、法奥小、十和田湖小地区	懇談会への女性の出席者割合	13.1%	5	24 (7.3%)	2.6%	3.1%	まちづくり支援課		
37			男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立	女性の参画を拡大し、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立に努める。	防災会議委員は、指定地方行政機関、県、警察、消防、教育長、指定公共機関、指定地方公共機関などの防災に関する機関の部長や署長など役職にある者と市長、副市長、総務部長、学識経験者を委員として任命している。 令和3年度末時点での防災会議委員数 防災会議委員 19人（うち女性 2人）	防災会議委員の女性割合	10.5%	24 (5.3%)	0%		総務課	参考データ ※県データ…女性割合 4.0% (H28.4.1)		
38			男女共同参画による消防団活動	男女共同参画による消防団活動において、防火・防災の推進を図るとともに消防団組織の増強に努める。	消防団員数及び女性消防団員は、微増しており、女性消防団員は、観開式、出初式での式典運営や礼式訓練、ラッパ隊による演奏を行った。 ※観開式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。 令和3年度末時点での消防団員数 消防団員 684人（うち女性団員 40人）	消防団員の女性割合	5.8%	5	24 (2.1%)	2.8%	5%	総務課	【達成目標～5% (H33年度)】	

第2次十和田市男女共同参画社会推進計画（後期実施計画） 令和3年度における進捗状況

No.	基本目標	重点項目	施策の方向	令和3年度における事業の実施状況及び評価						参考値 (28年度)	目標値 (3年度)	計画後期の総括	担当課	備考	
				事業名	内容	実施状況（実績）	指標名	現状値	達成度						指標設定年度
39	Ⅱ「女と男」がともに参画するまちづくり	2 活力あるまちづくりへの共同参画の推進	1 地域、防災・環境分野等における男女共同参画の推進	環境保全、公害発生防止対策	「広報とわだ」の掲載内容 ・ごみ問題に関する情報 18件 ・環境に関する情報 5件 ※水環境保全活動に関する情報については、新型コロナウイルス感染症の影響により、対象事業が中止となったため、掲載なしとなった。 市ホームページへの情報掲載、更新内容 ・ごみ問題に関する情報 3件 ごみアプリお知らせ配信内容 ・ごみ問題に関する情報 3件 【計 29件】⇒月平均約2.4件	情報提供や啓発活動の回数	2.4回/月	5	29	1回/月	2回/月	令和3年度現状値は2.4回/月となり、目標値を上回った。計画期間中において平成29年度及び令和2年度に目標値を下回ったものの、水保全活動・ごみ問題などに関する情報提供や啓発を行うことにより、自然環境の保全や公害発生防止につなげることができた。	まちづくり課	第2次十和田市総合計画 第1期実施計画関連事業	
40				新たな広域的コミュニティ活動支援	地域の暮らしを支えるコミュニティの組織の立ち上げや人材の育成などの基盤強化により、コミュニティ活動の活性化を図ることを目的として、概ね小学校区を単位とするコミュニティの組織化をサポートするとともに、地域づくりに必要な人材の育成に努める。 前年度に引き続き、広域コミュニティ組織化を促進するため、以下の事業を実施した。 新たな広域コミュニティの設立に向けた座談会についてはコロナ禍により実施できなかった。 ○広域コミュニティ事務局支援補助 団体数 4団体 ○広域コミュニティ活動支援補助 団体数 4団体	広域コミュニティの登録数	4団体	3	29	1団体	13団体	令和3年度現状値は、4団体となり、目標値を下回る結果となった。新たな広域コミュニティの設立に向け、平成29年度から地域づくり座談会や説明会などを実施してきたが、令和2～3年度はコロナ禍のため、十分な会合の機会を設けることができなかった。	まちづくり課	新規事業 第2次十和田市総合計画 第1期実施計画関連事業	
41			2 女性の人材育成とエンパワメント支援（※）	女性団体及び個人のネットワーク活動支援（※）	男女共同参画の視点で活動する女性団体を支援する。	上十三地域男女共同参画ネットワーク協議会の会議や勉強会（Web開催）に参加し、男女共同参画の視点で活動する県内の団体と意見・情報交換を行った。（本市の参加者 2人）	女性団体との意見交換会の回数と参加者数	1回 21人	3	25 1回 42人	1回 25人	1回 25人	本市の男女共同参画の視点で活動する団体は活動を休止しており、活動の再開などについては未定である。個人で活動している人に呼び掛けて上十三地域男女共同参画ネットワーク協議会の会議などに参加した。	総務課	
42				政治への参画意識の高揚（※）	市民の政治、選挙への意識の向上を図るため「話し合い学習」を中心とした啓発活動を推進する。 十和田市明るい選挙推進協議会を支援し、政治参画意識を高める。	選挙時の啓発活動として、十和田市明るい選挙推進協議会の委員とともに、スーパー2か所、ショッピングセンター1か所の計3か所において、選挙チラシ等を配布しながら投票を呼び掛ける一日街頭啓発を行ってきたが、令和3年度は令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止とした。選挙時の啓発として防災行政無線を利用した広報及び商工会等の協力により、商店等において選挙のお知らせポスターの掲示を行った。 若年層の投票率向上を目的に市内にある高等学校4校の3年生に選挙啓発用のパンフレットを配布した。 また、県と共同主催の選挙出前講座において啓発活動を行った。	投票者数に占める女性割合	衆院選: 13,038人 52.06%		29	参議院 15,589人 52.5% 市議補欠 5,849人 51.2%		選挙管理委員会	参考データ	
43				職員研修の実施（※）	市主催研修を定期的開催することにより、宿泊研修に参加することが難しい女性職員等の参加を促し、職員の資質と能力向上を図る。	庁内で実施する研修に関し、参加周知を行った。特に育児・介護等の事情がある職員が研修に参加しやすいよう個別勧奨などを行った。 ●市主催研修参加者 180人（内女性63人）※女性35.0%	市主催研修参加者数と女性割合	180人 35.0%	3	24 359人 33.4%	241人 46.9%	250人 47%	市主催研修の参加者数はH29年度～R元年度までは順調に増加し目標を達成していたものの、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を例年の半数程度に限定して実施した研修もあるため、目標値を達成できなかった。 また、女性職員の参加割合も令和元年度は達成できたものの、その他の年度は達成できなかった。	総務課	

■（※）は女性活躍推進法関連項目と事業

第2次十和田市男女共同参画社会推進計画（後期実施計画） 令和3年度における進捗状況

No.	基本目標	重点項目	施策の方向	令和3年度における事業の実施状況及び評価						参考値 (28年度)	目標値 (3年度)	計画後期の総括	担当課	備考	
				事業名	内容	実施状況（実績）	指標名	現状値	達成度						指標設定年度
44	Ⅱ「女と男」がともに参画するまちづくり	2 活力あるまちづくりへの共同参画	3 国際的視野に立つ男女共同参画の推進	国際交流の推進	外国人住民が安心して生活し、活躍できる多文化共生社会の推進を図るとともに、異文化交流などの国際交流活動により、市民の国際感覚の育成を目指すことを目的として、市民団体が行う国際交流活動等を支援し、国際化の意識高揚と充実を図る。	国際交流事業を実施する団体に対し、国・県等の補助事業等の情報提供を行った。 ○民間団体による国際交流事業への市民の参加者 56人 【NPOプロ・ワークス十和田】0人 ・新型コロナウイルス感染症の影響により事業実績なし 【NPO十和田国際交流協会】56人 ・三沢米軍基地交流事業 ・レスブリッジ交流事業 ・翻訳・通訳事業	民間団体による国際交流事業への市民の参加者数	56人	3	24 (800人)	880人	980人	令和3年度の数値において、目標値を下回ることとなった。新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業中止や、規模を縮小して実施せざるを得なかったことから参加者減となった。	まちづくり課	第2次十和田市総合計画第1期実施計画関連事業
45				国際教育への支援	外国語によるコミュニケーション能力を高め、異文化を理解・尊重し共生しようとする態度を育てることにより、国際化に対応できる人材の育成を図ることを目的として、小・中学校に対して外国語指導助手（ALT）を派遣し、語学指導や国際教育への支援を行う。	児童・生徒の英語力の向上や国際理解教育の推進を目的に、外国語指導助手（ALT）8人を派遣し、中学校の外国語科の授業、小学校の外国語活動及び外国語科の授業を支援した。 小学校学習指導要領に対応するため、小学校の外国語活動及び外国語科の授業への派遣回数が増加した。その結果、特に児童の外国語を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成することができた。	学校への派遣回数	1,563回	4	24 (860回)	1,050回	1,750回	令和3年度現状値において目標値を上回ることができなかったが、達成率としては89%であり、コロナ禍の影響を踏まえると概ね良好である。	指導課	第2次十和田市総合計画第1期実施計画関連事業